

平成25年度 学校自己評価システムシート (県立越谷北高等学校)

目指す学校像	全人教育を目指す進学校として、生徒の人間性を全面的、調和的に発達させ、志を高く持ち、自己実現を図れる人材を育成する
--------	---

重点目標	1 基礎基本の確立と、学習効果を高める授業づくり 2 高い志を醸成し、卒業後も広い視野を持って活躍できる人材を育成する組織的進路指導 3 規律ある生活態度と人権意識を高め、品格ある北高生を育成する生徒指導 4 広く教育活動を発信・公開し、進学校としての評価を高める学校づくり
------	--

※ 重点目標は3つ以上の設定も可。重点目標に対応した評価項目(年度達成目標を意味する。)は複数設定可。
 ※ 番号欄は重点目標の番号と対応させる。評価項目に対応した「具体的方策、方策の評価指標」を設定。

達成度	A	ほぼ達成 (8割以上)
	B	概ね達成 (6割以上)
	C	変化の兆し (4割以上)
	D	不十分 (4割未満)

※学校関係者評価実施日とは、最終回の学校評価懇話会を開催し、学校自己評価を踏まえて評価を受けた日とする。

出席者	学校関係者	12名
	生徒	4名
	事務局(教職員)	2名

学 校 自 己 評 価					学 校 評 価 (2月1日現在)		学 校 関 係 者 評 価
年 度 目 標					年 度 評 価		実 施 日 平 成 2 6 年 2 月 2 1 日
番号	現状と課題	評価項目	具体的方策	方策の評価指標	評価項目の達成状況	達成度	次年度への課題と改善策
1	生徒の第一志望の進路実現のため、授業の課題を把握し、教科研修等で授業効果の向上に努めることと、家庭学習時間を確保し日常の学習習慣の定着により自学自習力を向上させることがさらに必要である。	<ul style="list-style-type: none"> 授業時数を確保する。 学習指導を充実させる。 授業改善に取り組む。 生徒の自学自習力を向上させる。 	<ul style="list-style-type: none"> 授業振替を積極的に行い、授業時間の確保と充実を努める。 授業研修週間・授業研修会を充実させて教科会で協議し、授業の質の向上に取り組む。 授業評価アンケート、学習実態調査を実施し、課題を把握し改善する。 家庭学習の習慣づけのため、学習方法を指導し、週末課題、小テスト、計画表の作成など学年・各教科で取り組みを工夫する。 	<ul style="list-style-type: none"> 授業振替率(88%)の向上 授業公開週間の授業の見学や充実した教科研修会の実施 授業評価アンケート、学習実態調査における授業等への満足度 生徒の家庭学習時間の平均値 	<ul style="list-style-type: none"> 授業振替率は、2学期末現在86%で、週2日の7時間授業と隔週の土曜4時間授業により授業確保を図った。 授業力の向上を目指して、「コミュニケーション能力の育成」という統一テーマのもと年間2回の授業研修週間と各教科における授業研修会を実施した。 90.5%の生徒、94.9%の保護者が、本校の学習指導の体制は整っていると評価している。生徒本人の努力をさらに加味して授業理解度を向上させていく。 各学年とも、学年・教科の取組の工夫(週末課題、小テスト、計画表の作成など)があった。4月当初に比べ、家庭学習時間は1、2年生はほぼ横ばい、3年生は入試への取組もあり、増加した。 	B	<ul style="list-style-type: none"> 生徒の学力をさらに向上させるため、各教科の課題の量と質を考えるとともに、生徒自身が計画表を作成することにより、時間の有効活用を図らせる。 次年度は、各教科ごとに自己評価シートを作成し、3年間を見通した継続した指導法を構築していくことにより、学校全体の授業力を向上させる。
2	多くの生徒が国公立大学進学を目指して学習に取り組んでいる。県指定事業を効果的に活用して広い視野をもたせるとともに、卒業後も伸び続ける指導をしていく取組が必要である。	<ul style="list-style-type: none"> 生徒の進路意識を啓発し、進路希望を実現させる。 難関国立大学の受験者数を増加させる。 進路指導部の牽引の下に学年との連携を強化し、3年間を見通した系統的な指導を組織的に取り組む。 	<ul style="list-style-type: none"> 進路だよりの発行、各種分析会の実施により、生徒一人一人に適した情報を提供する。 進路希望実現にむけて個別面談・スタディサポートや進路の手引きの活用、ガイダンス、講演会等を実施する。 学習指導委員会や進路指導部と連携しより組織的・効率的な進路指導を推進する。 他校と連携し、進路指導の効果的な実践等の情報交換を行い、効果のある取り組みを積極的に取り入れる。 	<ul style="list-style-type: none"> 大学入試センター試験5教科7科目の受験率(昨年度150人) 難関国立大学の受験者数(昨年度27人) 進路アンケートによる満足度の上昇率 他校との連携による効果的な実践等の情報交換状況 	<ul style="list-style-type: none"> 進路指導部を軸にして、進路便りを年間40回発行、ガイダンスや講演会を実施し、生徒に適切な情報を提供するとともに、大学見学会、大学出張講座、OBとの懇談会、オープンキャンパスへの参加等生徒を啓発する様々な機会を設定し、高いレベルの進路希望を実現しようとする意欲を喚起している。大学入試センター試験5教科7科目受験者138人、難関国立大学受験予定者30人である。 学校評価アンケートの進路指導項目の結果は、生徒、保護者ともに90%以上の方から肯定的な回答を得ることができた。 学習指導委員会中心に、昨年度の進路指導重点推進校10校の報告の中から、本校が取り入れられる方策を検討している。また、県外の高校の実践を訪問・研究し、本校の進路指導の参考としている。 	A	<ul style="list-style-type: none"> 高い志をもち、第一志望の進学目標に向けて自ら学び続ける態度を育成する指導体制を確立する。次年度においても難関国立大学の受験者数を増加させる。
3	地域の方から登下校のマナーについて指摘される時がある。勉強や部活動の尚一層の向上とともに、社会に目を向け多方面に興味関心を持つ生徒を育成することも本校に求められている。	<ul style="list-style-type: none"> 学校生活全般をとおして豊かな人間性と品格を育成し、社会規範に対する意識を向上させる。 部活動や学校行事、生徒会活動へ積極的に取り組ませる。 将来、社会のリーダーとして活躍できる人材育成のための取り組みを行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 身だしなみ指導、交通マナー向上等への継続的取組をとおして、規律ある生活態度を育成し、自己管理能力を高める。 部活動や学校行事への積極的な参加を促して、文武両道を実践する姿勢を育む。 県指定事業の未来創造・リーダー育成プロジェクトを活用し、生徒の高い志を育成する。 	<ul style="list-style-type: none"> 身だしなみ指導・登校指導・遅刻指導の状況と結果 生徒、保護者による学校評価アンケート結果 リーダーとして社会に貢献しようという意識が向上した生徒の割合 	<ul style="list-style-type: none"> 正門付近の登校の状況はかなり改善され、登下校のマナーについての苦情、個々の生活指導についての違反者、生徒指導上の問題行動は、いずれもほとんど無い。 学校評価アンケートの結果、生徒の90.6%、保護者の97.2%が北高に入学して良かったと回答しており、逆に学校への期待が非常に大きい。 生徒のリーダーシップの素養を高めることをねらいとして、関係外部機関と調整し「リーダー育成講演会」を開催した。 生徒による竜巻被害復旧のボランティア活動や、高齢者・小学生への救援活動等の善行に対して感謝の言葉が寄せられている。また、1年生は、年間2回、近隣河川や道路沿いの清掃活動を行い、地域貢献に取り組んだ。 	A	<ul style="list-style-type: none"> 生徒の高い志を育み、将来、リーダーとして活躍できる人材の育成を目指して、県の指定事業「未来を創造するリーダー育成推進プロジェクト」に、学校全体で共通理解を図りながら取り組んでいく。 次年度においても、全職員の共通理解のもと、学習指導と生徒指導を本校の教育活動の両輪ととらえ全人教育に取り組んでいく。 学習と部活動のバランスがとれるよう進学校としての部活動のあり方を検討していく。
4	<ul style="list-style-type: none"> 学校HP更新のシステムも整い、学校行事や部活動等の最新の情報を随時ホームページに掲載し北高の魅力を積極的にPRしている。 生徒募集に係る広報活動を充実させ、中学生向けに学校のPR活動を積極的に進める必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 広報活動の充実により積極的に情報発信を行う。 中学生対象の各説明会を組織的計画的に開催し、参加数を増加させる。 	<ul style="list-style-type: none"> 総務部を中心に、多くの職員が特色ある学校行事や部活動の成果等をHPにアップして情報発信する。 土曜公開授業、体験授業、学校説明会の実施、進学フェアや塾等の説明会への参加、中学校への出前授業、中学校訪問の実施をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ホームページの更新回数 外部からのホームページアクセス数 生徒募集に係る各広報活動への参加回数 中学生と保護者の参加者数 	<ul style="list-style-type: none"> 総務部を中心に、多くの職員の協力により、HPはほぼ毎日更新をしている。その結果、アクセス数は、1日平均1,130件(前年度比1.6倍)となり、本校の教育活動の最新情報を積極的に発信することができた。 土曜公開授業の際のミニ学校説明会、1年生による母校訪問(7月)、教員による94校の中学校訪問(12月)、約2,000名参加の学校説明会(8月)、350名参加の体験入学、理数科説明会、中学校への出前授業、依頼のあった塾主催の進学説明会へすべて参加等により、12/15現在の本校への志願者は、普通科1.48倍、理数科1.73倍といずれも昨年度を上回った。 	A	<ul style="list-style-type: none"> 特色ある学校行事や部活動の成果等をHPにアップして情報発信する。 土曜公開授業のときのミニ学校説明会では、在校生の保護者による説明が大変好評であった。各広報活動に保護者とのさらなる連携を図っていく。

学校関係者からの意見・要望・評価

- 生徒の学力向上のために、授業確保等しっかりと取り組み、授業改善を図っている。
- 校舎が古くなり、学習環境の整備が必要と思われる。以前に比べると改善が図られている。
- 勉強、部活動、学校行事をがんばることは、つらいとは思わない。むしろやりがいを感じる。
- 最近、提出物がルーズになっているところがある。自覚が必要であると思う。
- 定期考査の勉強のために、学校での放課後での学習時間を長くして欲しい。
- 志望校に合格してからさらに伸びるよう生徒のバックグラウンドを広げる進路指導をお願いしたい。
- 生徒は、勉強以外にも様々なことに積極的に取り組み、人間としての幅を広げて欲しい。
- 越谷北高校の進路指導の取り組みについて大変満足している。

- 自分の可能性を高くするのは、自らの体験に基づく。狭く考えないで、高校でいろいろなことを経験することが大切である。そして、勉強に手を抜かないことである。
- スマートフォンの是非についていろいろ意見があるが、使い方がわからないと困る場合がある。上手な使い方をして、学力向上につなげて欲しい。当然ながら活字も読んでもらいたい。
- 理数科での様々な取り組みについて、予算が限られているとは思われるが、今後も特色を出してがんばって欲しい。
- 越谷北高校の教育活動について、保護者としてしっかりと協力をしていきたい。

